

平成16年度 水道事業の決算状況



幌別浄水場

炊事や洗濯、入浴などわたしたちの生活に水は欠かせません。市は、安全で良質な水道水を安定的に供給するため、市民の皆さんからいただく水道料金を主な財源として、水道施設の整備や維持管理などを毎年度実施しています。

今月号では、表やグラフを使いながら、平成16年度水道事業会計の決算状況をお知らせします。

なお、決算は毎年度、監査委員による審査や、市議会ですまざまな角度から審議されます。

水道事業会計の概要

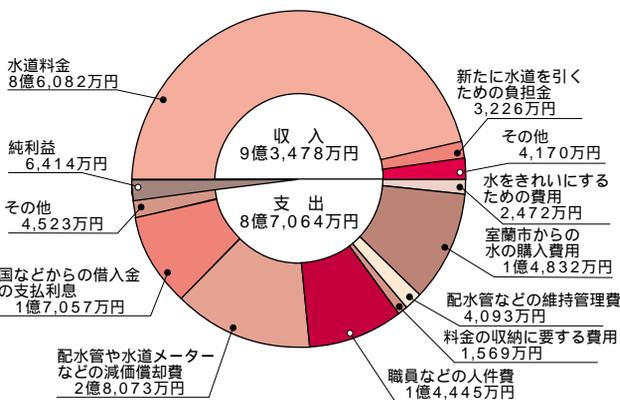
水道事業会計は、性質別に『収益的収支』と『資本的収支』の2つに分類されています。

収益的収支は、皆さんからいただく水道料金などで、施設の維持管理費や修繕費、国から借りたお金の支払利息などの費用を賄う収支をいい、資本的収支は、国からの借入金などで、配水池の建設費や配水管の整備費、国から借りたお金の元金償還などの投資的費用を賄う収支をいいます。

一般的に1事業年度の営業利益を示す『損益（黒字または赤字）』は収益的収支で表します。

収入と支出の概要

収益的収支グラフ



〈収益的収支〉

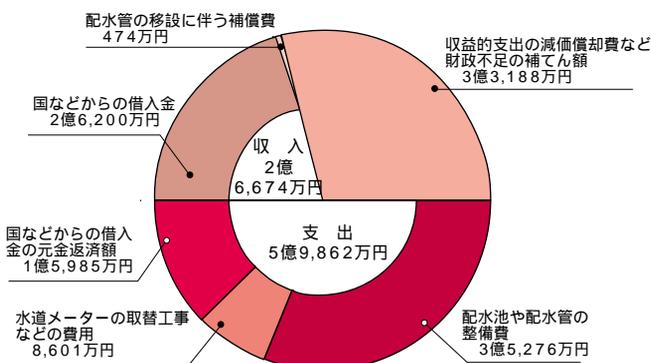
収入合計は、予算の9億3,303万円に対し決算は9億3,478万円で175万円の増となりました。

一方、支出合計は、予算の9億1,581万円に対し、決算は8億7,064万円で4,517万円の減となりました。この原因は、受水費（室蘭市からの水の購入費）や人件費などが減少した影響によるものです。

この結果、収支決算は、予算の788万円に対し、6,414万円の黒字となりました。

また、この黒字額については、国などからの借入金の元金償還に充てるため、減価積立金に414万円、配水管の更新などの施設整備に充てるため、建設改良積立金に6,000万円、併せて黒字分の6,414万円を積み立てる予定です。

資本的収支グラフ



〈資本的収支〉

収入合計は、予算の2億6,400万円に対し、決算は2億6,674万円で274万円の増となりました。

一方、支出合計は、予算の6億1,082万円に対し、決算は5億9,862万円で1,220万円の減となりました。

この結果、収支決算は、予算の3億4,682万円に対し、3億3,188万円の財源不足となりました。

また、この不足額については、収益的支出のうち、現金の支出を必要としない費用の減価償却費など（損益勘定留保資金）で補てんしました。